

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位 (時間)	科目責任者
診療補助技術	2年次 通年	必修	講義	2単位 (60時間)	鹿島 ゆかり ※
授 業 概 要					
<p>診療補助業務に関わる技術を、看護形態機能学の知識をもとに学ぶ。診療の補助技術の中には、医療事故につながる技術や身体侵襲が伴う技術もあるため、対象の深い理解と看護者としての高い倫理観に基づいた、正確で根拠のある技術の提供ができることを目指す。</p>					
到 達 目 標					
<p>1. 診療の補助に関わる看護の基本技術を、原理原則に基づいて実施する。  2. 診療の補助に関わる基本技術の援助方法が安全の視点からわかる。  3. 診療の補助に関わる技術を行う上で、正確性・安全性・安楽性、看護者としての倫理が求められる意味が分かる。  4. 診療の補助に関わる看護技術を行う上での倫理的配慮・礼節・態度を遵守する。</p>					
実務経験のある教員					
鹿島 ゆかり、土田 雅美、大谷 佳奈、岡田 むつみ：臨床経験をふまえ診療の補助技術の目的・方法・根拠について教授する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-30	<p>1. 看護者が行う診療の補助業務とは  1) 診療の補助に関わる看護の基本技術と安全・倫理  2) 医師と看護職者との役割分担 (本人・家族への説明含む)</p> <p>2. 診療・処置時の看護技術  1) 感染予防 (無菌操作) の看護技術  ①滅菌物の取り扱い ②滅菌手袋の着脱  2) 与薬の看護技術  ①経口的与薬法 ②口腔内与薬法 ③直腸内与薬法 ④吸入法  ⑤経皮的与薬法 ⑥点眼法 ⑦注射法 ⑧輸液法 ⑨輸血法  3) 呼吸・循環を整える看護技術  ①酸素吸入療法 ②吸引 ③体位ドレナージ ④体温調節</p> <p>3. 検査時の看護技術  1) 検体の採取  ①尿の採取 ②血液 (静脈血) の採取 ③便の採取 ④喀痰の採取  ⑤胸水・腹水の採取 ⑥髄液の採取 ⑦骨髄液の採取  ⑧一時的導尿 ⑨摘便 ⑩浣腸</p> <p>4. 事例演習  5. 事故防止演習</p>				鹿島 ゆかり ※  土田 雅美 ※ 大谷 佳奈 ※ 岡田 むつみ ※
学 習 方 法					
講義 グループワーク					
評 価 方 法					
看護技術試験 レポート 科目修了試験					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅰ 茂野香おる 他 著 医学書院 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ 任和子 他 著 医学書院 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 [4] 臨床看護総論 香春知永 他 著 医学書院 看護技術プラクティス第4版 竹尾恵子監修 学研					